

JKMMメンバー が設計思想紹介

東北工大建築学部
と北欧デザイン研

フィンランドを代表する建築設計事務所JKMMアーキテクトのメンバーである建築家のフレヤ・ストールベリ・アアルト氏とインテリアデザイナーのパイヴィ・メウロネン氏による建築講演会が6日、仙台市内の東北工業大学一番町ロビーで開かれた。写真。同大建築学部の建築家・専門家によるレクチャーシリーズ「Lecture for young architects」の一環で開催したもので、同大北欧デザイン研究所（ともに石井敏学部長・所長）と共催した。「INFRASTRUCTURE



URE OF HAPPINESS（私たちの幸せをかたちづくる建築―建築は世界をより良くすることができか）」をテーマにした講演には、同学部生のほか、県内設計事務所所属員ら約30人（オンライン10人）が参加した。アアルト氏とメウロネン氏

は、同大と宮城学院女子大が共催した2019年度の講演会以降にJKMMが手掛けた作品を紹介した。大学や小学校、保育園などの教育施設、美術館や図書館などの芸術・文化施設を中心に、写真と動画を使って建築コンセプトと空間が備える魅力を説明した。

設計に当たっては、明確にすべき理念や、建築コンセプト、デザイン根拠を与えるためのリサーチ（研究）の実践と、それらを融合することの重要性を強調した。

参加者は、フィンランド建築の断熱性能や大規模木造建築の建設状況、設計事務所の勤務の在り方などについて質問するなど、フィンランドの暮らしと建築を取り巻く環境に高い関心を示していた。

